学びのひろば旭 vol.143

旭市教育委員会
教育総務課（☎85-8617）
生涯学習課（☎85-8627）
スポーツ振興課（☎64-1132）

子どもたちの未来を切り拓く
小・中学校のＩＣＴ教育

文部科学省の「ＧＩＧＡスクール構想」に基づき、児童・生徒にタブレット端末が配布されてから５年目を迎えました。現在では、鉛筆やノートと同じ学習用具の一つとして、子どもたちの可能性を広げるために必要不可欠なツールとなっています。

タブレット端末の活用事例

●ドリル学習

小・中学校の教科書に沿った学習ができます。解答した時点で自動採点される機能もあり、例えば漢字練習では、書き順・とめ・はねを間違うと正しい書き方をすぐに教えてくれます。

●デジタル教科書

小学５年生～中学３年生の外国語の授業では、国が無償で提供するデジタル教科書を活用しています。英語を母語としている人の発音を聴けるので、リスニング力の向上につながり、理解を深めることができます。

●デジタルノートの活用

画面上のシートに撮影した写真を貼り付けたり、手書きで文字を書き込んだりできます。作成したシートを教室のモニターに投影することで、個々の考え方をクラス全員で共有することもできます。

タブレット端末

体育の授業でも活用

●心の健康を把握

児童・生徒が、現在の気持ちや体調などを報告できるアプリを活用しています。子どもたちの心の状態や変化を把握し、早期に問題を発見して適切な対応ができるよう見守っています。

ＩＣＴ支援員を派遣

タブレット端末などのＩＣＴ機器を活用した授業をサポートするため、支援員を各学校へ派遣しています。

支援員は、教員のＩＣＴスキル向上を目的とした研修の実施や、機器のトラブルが発生した際のサポートも行っています。

情報モラル教育

ＳＮＳによるトラブルに巻き込まれないよう、危険性を学ぶとともに、ＳＮＳへの投稿が自身や他人に及ぼす影響も考え、情報を発信する際の責任を理解し、適切に利用できるように学んでいます。

広報で振り返る
あの日あのときのあさひ

第34回

1985年（昭和60年）９月号

このコーナーでは過去の広報を紹介し、その時代を振り返ります。

今回は広報うなかみ昭和60年９月号を紹介します。

表紙は、町内の各保育所・幼稚園で開催された「夕涼み会」の様子です。暑い時間帯を避け、家族と一緒に楽しむ夏祭りで、金魚すくいなどの縁日遊びや親子での盆踊り、夜には花火大会なども行われました。

そのほかでは、家庭教育に関する講演会を報じています。駄目な親の例もイラストで紹介されていて、中には「ここぞと思うときに子どもをぶんなぐらないお父さん」など、時代を感じさせる内容もありました。

家庭教育に関する講演会

表紙（夕涼み会）